



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社  
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二  
(コード番号 5660 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼  
企画部長  
吉 田 裕 彦  
(TEL 06-6411-1051)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 11 月 8 日付「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL http://www.shinko-wire.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,720	△1.3	475	15.1	404	11.4	201	△1.6
25年3月期第2四半期	13,894	△0.5	413	△28.1	363	△23.5	204	△4.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 320百万円(60.4%) 25年3月期第2四半期 199百万円(△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.87	—
25年3月期第2四半期	3.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	44,630	19,214	35.6
25年3月期	44,950	19,068	35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,889百万円 25年3月期 15,756百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,000	8.2	1,400	28.4	1,200	21.2	600	11.7	11.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）株式会社テザック神鋼ワイヤロープ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	58,698,864株	25年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,624,877株	25年3月期	6,618,795株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	52,077,758株	25年3月期2Q	52,088,931株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大胆な金融緩和・財政政策等への期待感を背景として、円高の是正や株価の上昇が進んだことにより先行きの景況感に明るさはみられたものの、中国経済の成長鈍化による減速感、欧州債務問題の長期化など、依然先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、民間投資関連需要では自動車を中心に持ち直しの動きが見えつつありましたが、公共投資関連需要では補正予算の効果などにより回復傾向にあるものの出足は鈍く厳しい状況で推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、徹底したコスト削減に努めるとともに、高付加価値製品の売上高比率のアップや販売価格の是正に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,720百万円と前年同期に比べ1.3%の減収となりましたが、営業利益は475百万円（前年同期比15.1%増加）、経常利益は404百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。また、法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は201百万円（前年同期比1.6%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 公共事業関連では、全体として工事着工の遅れなどがあるものの、2013年度公共事業予算が4年ぶりに増加に転じたことから、P C関連市場は前年同期に比べ上向きとなり、販売数量は増加しました。民需関連でも、マンション向け需要やプロジェクト物件などが堅調に推移し、全体としては、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも増加しました。

(ばね・特殊線関連製品) 主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）は、自動車メーカーの国内生産が好調に推移したことに加え、日系メーカーの中国での生産も回復傾向にあることから、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも増加しました。また、ばね用ニッケルめっき鋼線は、欧州経済の停滞や中国経済の成長鈍化の中、販売数量はほぼ前年同期並みを確保しましたが、売上金額は減少しました。ステンレス鋼線は、自動車関連製品向け需要や住宅関連需要が堅調に推移して、前年同期に比べ販売数量は増加しましたが、売上金額は減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,871百万円と前年同期に比べ1.5%増加となり、営業利益は172百万円と前年同期に比べ33百万円の減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は公共投資増加を反映し増加傾向にあり、その結果、国内向け販売数量、売上金額とも前年同期に比べ微増となりました。一方、輸出については中国の景気鈍化およびコンテナクレーン等大型物件の需要が低迷しており、エレベータ向けの販売増などで取り戻したものの、販売数量、売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は5,984百万円と前年同期に比べ微増となり、営業利益は197百万円と前年同期に比べ80百万円の増加となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルでは、橋梁向けの売上金額は前年同期に比べ増加しましたが、建築向けは減少しました。また、落橋防止ケーブルは前年同期に比べ減少しましたが、道路騒音防止関連製品は前年同期に比べ増加しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は833百万円と前年同期に比べ25.9%減少となり、営業利益は81百万円と前年同期に比べ13百万円の増加となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高は31百万円と前年同期に比べ2.0%増加となり、営業利益は23百万円と前年同期に比べ1百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。  
総資産は、320百万円減少の44,630百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

負債は、466百万円減少の25,415百万円となりました。これは主として短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、146百万円増加の19,214百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は35.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年10月23日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,574	8,594
受取手形及び売掛金	9,845	9,183
商品及び製品	3,851	3,880
仕掛品	2,256	2,370
原材料及び貯蔵品	1,466	1,758
繰延税金資産	316	319
その他	565	588
貸倒引当金	△46	△54
流動資産合計	26,832	26,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,241	4,157
機械装置及び運搬具（純額）	4,445	4,305
工具、器具及び備品（純額）	154	148
土地	6,041	6,041
リース資産（純額）	54	60
建設仮勘定	50	78
有形固定資産合計	14,987	14,791
無形固定資産	245	229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166	1,280
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	916	870
その他	1,004	853
貸倒引当金	△201	△36
投資その他の資産合計	2,885	2,967
固定資産合計	18,118	17,989
資産合計	44,950	44,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,528	2,616
短期借入金	5,789	5,642
リース債務	22	24
未払費用	1,180	1,183
未払法人税等	267	194
賞与引当金	517	517
その他	620	291
流動負債合計	<u>10,926</u>	<u>10,469</u>
固定負債		
長期借入金	11,595	11,568
リース債務	38	43
退職給付引当金	2,296	2,341
役員退職慰労引当金	58	53
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	492
負ののれん	30	—
その他	437	438
固定負債合計	<u>14,955</u>	<u>14,946</u>
負債合計	<u>25,881</u>	<u>25,415</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,616	2,633
自己株式	△1,353	△1,354
株主資本合計	<u>15,680</u>	<u>15,696</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	104
為替換算調整勘定	0	87
その他の包括利益累計額合計	<u>75</u>	<u>192</u>
少数株主持分	<u>3,312</u>	<u>3,325</u>
純資産合計	<u>19,068</u>	<u>19,214</u>
負債純資産合計	<u>44,950</u>	<u>44,630</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	<u>13,894</u>	13,720
売上原価	<u>11,249</u>	<u>10,993</u>
売上総利益	<u>2,645</u>	<u>2,726</u>
販売費及び一般管理費	<u>2,231</u>	<u>2,250</u>
営業利益	<u>413</u>	<u>475</u>
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	9	11
負ののれん償却額	30	30
固定資産賃貸料	24	24
貸倒引当金戻入額	19	6
その他	22	7
営業外収益合計	<u>131</u>	<u>103</u>
営業外費用		
支払利息	88	92
持分法による投資損失	<u>8</u>	<u>12</u>
その他	<u>84</u>	<u>70</u>
営業外費用合計	<u>182</u>	<u>175</u>
経常利益	<u>363</u>	<u>404</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>363</u>	<u>404</u>
法人税、住民税及び事業税	145	141
法人税等調整額	<u>△17</u>	<u>28</u>
法人税等合計	<u>127</u>	<u>169</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>235</u>	<u>234</u>
少数株主利益	30	33
四半期純利益	<u>204</u>	<u>201</u>

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>235</u>	<u>234</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	32
為替換算調整勘定	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>二</u>	<u>51</u>
その他の包括利益合計	<u>△35</u>	<u>85</u>
四半期包括利益	<u>199</u>	<u>320</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>171</u>	<u>283</u>
少数株主に係る四半期包括利益	28	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,772	5,967	1,124	13,864	30	13,894	—	13,894
セグメント間の内部売上 高又は振替高	621	74	0	697	—	697	△697	—
計	7,393	6,042	1,125	14,561	30	14,591	△697	13,894
セグメント利益	205	117	68	391	22	413	—	413

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,871	5,984	833	13,688	31	13,720	—	13,720
セグメント間の内部売上 高又は振替高	355	103	0	459	—	459	△459	—
計	7,226	6,088	834	14,148	31	14,179	△459	13,720
セグメント利益	172	197	81	452	23	475	—	475

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

### 3. 参考

#### 1. 第2四半期（累計）及び通期業績予想 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	13,894	27,708	13,720	30,000	△174	2,291
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	6,772	13,415	6,871	14,820	98	1,404
鋼索関連事業	5,967	11,693	5,984	12,640	17	946
エンジニアリング関連事業	1,124	2,537	833	2,480	△291	△57
その他	30	61	31	60	0	△1
営業利益	413	1,084	475	1,400	62	315
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	205	432	172	670	△32	237
鋼索関連事業	117	260	197	500	80	239
エンジニアリング関連事業	68	346	81	190	12	△156
その他	22	45	23	40	1	△5
経常利益	363	989	404	1,200	41	210
四半期（当期）純利益	204	542	201	600	△3	57
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	3.93	10.42	3.87	11.52	△0.05	1.10

（単独）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	10,737	21,546	10,485	23,180	△251	1,633
経常利益	329	766	203	840	△126	73
四半期（当期）純利益	218	458	121	520	△96	61
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	4.18	8.79	2.33	9.98	△1.85	1.19

#### 2. 設備投資・減価償却費 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
設備投資	277	730	265	900	△12	169
減価償却費	475	955	486	970	10	△14

#### 3. 連結キャッシュ・フロー （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
営業キャッシュ・フロー	202	1,278	883	1,718	680	439
投資キャッシュ・フロー	△705	△1,287	△497	△1,294	208	△7
財務キャッシュ・フロー	1,067	2,731	△368	△853	△1,435	△3,585
現金・現金同等物期末残高	6,412	8,573	8,592	8,143	2,180	△429

#### 4. 有利子負債・金融収支 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
有利子負債残高	15,602	17,384	17,210	16,495	1,607	△889
金融収支	△54	△122	△57	△119	△3	3

(訂正前)



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL http://www.shinko-wire.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,720	△1.3	465	12.4	394	8.3	199	△4.5
25年3月期第2四半期	13,903	△0.5	414	△27.9	364	△23.3	208	△2.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 267百万円(31.1%) 25年3月期第2四半期 204百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.83	—
25年3月期第2四半期	4.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	44,802	19,375	35.8
25年3月期	45,162	19,289	35.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,060百万円 25年3月期 15,987百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,000	8.2	1,400	28.4	1,200	21.2	600	11.7	11.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）株式会社テザック神鋼ワイヤロープ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	58,698,864株	25年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,624,877株	25年3月期	6,618,795株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	52,077,758株	25年3月期2Q	52,088,931株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大胆な金融緩和・財政政策等への期待感を背景として、円高の是正や株価の上昇が進んだことにより先行きの景況感に明るさはみられたものの、中国経済の成長鈍化による減速感、欧州債務問題の長期化など、依然先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、民間投資関連需要では自動車を中心に持ち直しの動きが見えつつありましたが、公共投資関連需要では補正予算の効果などにより回復傾向にあるものの出足は鈍く厳しい状況で推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、徹底したコスト削減に努めるとともに、高付加価値製品の売上高比率のアップや販売価格の是正に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,720百万円と前年同期に比べ1.3%の減収となりましたが、営業利益は465百万円（前年同期比12.4%増加）、経常利益は394百万円（前年同期比8.3%増加）となりました。また、法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は199百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

（P C関連製品）公共事業関連では、全体として工事着工の遅れなどがあるものの、2013年度公共事業予算が4年ぶりに増加に転じたことから、P C関連市場は前年同期に比べ上向きとなり、販売数量は増加しました。民需関連でも、マンション向け需要やプロジェクト物件などが堅調に推移し、全体としては、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも増加しました。

（ばね・特殊線関連製品）主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）は、自動車メーカーの国内生産が好調に推移したことに加え、日系メーカーの中国での生産も回復傾向にあることから、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも増加しました。また、ばね用ニッケルめっき鋼線は、欧州経済の停滞や中国経済の成長鈍化の中、販売数量はほぼ前年同期並みを確保しましたが、売上金額は減少しました。ステンレス鋼線は、自動車関連製品向け需要や住宅関連需要が堅調に推移して、前年同期に比べ販売数量は増加しましたが、売上金額は減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は6,871百万円と前年同期に比べ1.3%増加となり、営業利益は168百万円と前年同期に比べ41百万円の減少となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は公共投資増加を反映し増加傾向にあり、その結果、国内向け販売数量、売上金額とも前年同期に比べ微増となりました。一方、輸出については中国の景気鈍化およびコンテナクレーン等大型物件の需要が低迷しており、エレベータ向けの販売増などで取り戻したものの、販売数量、売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は5,984百万円と前年同期に比べ微増となり、営業利益は192百万円と前年同期に比べ77百万円の増加となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルでは、橋梁向けの売上金額は前年同期に比べ増加しましたが、建築向けは減少しました。また、落橋防止ケーブルは前年同期に比べ減少しましたが、道路騒音防止関連製品は前年同期に比べ増加しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は833百万円と前年同期に比べ25.9%減少となり、営業利益は80百万円と前年同期に比べ13百万円の増加となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高は31百万円と前年同期に比べ2.0%増加となり、営業利益は23百万円と前年同期に比べ1百万円の増加となりました。



(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。  
総資産は、359百万円減少の44,802百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

負債は、445百万円減少の25,427百万円となりました。これは主として短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、86百万円増加の19,375百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は35.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年10月23日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,574	8,594
受取手形及び売掛金	9,845	9,183
商品及び製品	3,851	3,880
仕掛品	2,256	2,370
原材料及び貯蔵品	<u>1,452</u>	<u>1,744</u>
繰延税金資産	<u>308</u>	319
その他	<u>426</u>	<u>449</u>
貸倒引当金	△46	△54
流動資産合計	<u>26,670</u>	<u>26,488</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,241	4,157
機械装置及び運搬具（純額）	4,445	4,305
工具、器具及び備品（純額）	154	148
土地	6,041	6,041
リース資産（純額）	54	60
建設仮勘定	50	78
有形固定資産合計	<u>14,987</u>	<u>14,791</u>
無形固定資産	245	229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166	<u>1,233</u>
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	<u>1,288</u>	<u>1,243</u>
その他	1,004	853
貸倒引当金	△201	△36
投資その他の資産合計	<u>3,258</u>	<u>3,293</u>
固定資産合計	<u>18,491</u>	<u>18,314</u>
資産合計	<u>45,162</u>	<u>44,802</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,532	2,620
短期借入金	5,789	5,642
リース債務	22	24
未払費用	1,180	1,183
未払法人税等	244	171
賞与引当金	496	517
その他	620	291
流動負債合計	<u>10,886</u>	<u>10,450</u>
固定負債		
長期借入金	11,595	11,568
リース債務	38	43
退職給付引当金	2,296	2,341
役員退職慰労引当金	58	53
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	520	523
負ののれん	30	—
その他	437	438
固定負債合計	<u>14,986</u>	<u>14,977</u>
負債合計	<u>25,872</u>	<u>25,427</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,847	2,891
自己株式	△1,353	△1,354
株主資本合計	<u>15,911</u>	<u>15,954</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	104
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益累計額合計	75	106
少数株主持分	3,301	3,314
純資産合計	<u>19,289</u>	<u>19,375</u>
負債純資産合計	<u>45,162</u>	<u>44,802</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	13,903	13,720
売上原価	11,248	11,004
売上総利益	2,655	2,715
販売費及び一般管理費	2,240	2,249
営業利益	414	465
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	9	11
負ののれん償却額	30	30
固定資産賃貸料	24	24
貸倒引当金戻入額	19	6
その他	22	7
営業外収益合計	131	103
営業外費用		
支払利息	88	92
その他	93	82
営業外費用合計	182	175
経常利益	364	394
税金等調整前四半期純利益	364	394
法人税、住民税及び事業税	145	141
法人税等調整額	△20	20
法人税等合計	124	161
少数株主損益調整前四半期純利益	239	232
少数株主利益	30	33
四半期純利益	208	199

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>239</u>	<u>232</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	32
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	<u>△35</u>	<u>34</u>
四半期包括利益	<u>204</u>	<u>267</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>175</u>	<u>230</u>
少数株主に係る四半期包括利益	28	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジン アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,781	5,967	1,124	13,873	30	13,903	—	13,903
セグメント間の内部売上 高又は振替高	621	74	0	697	—	697	△697	—
計	7,402	6,042	1,125	14,570	30	14,600	△697	13,903
セグメント利益	210	115	66	392	22	414	—	414

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジン アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,871	5,984	833	13,688	31	13,720	—	13,720
セグメント間の内部売上 高又は振替高	355	103	0	459	—	459	△459	—
計	7,226	6,088	834	14,148	31	14,179	△459	13,720
セグメント利益	168	192	80	442	23	465	—	465

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

### 3. 参考

#### 1. 第2四半期（累計）及び通期業績予想 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	13,903	27,717	13,720	30,000	△183	2,282
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	6,781	13,424	6,871	14,820	89	1,395
鋼索関連事業	5,967	11,693	5,984	12,640	17	946
エンジニアリング関連事業	1,124	2,537	833	2,480	△291	△57
その他	30	61	31	60	0	△1
営業利益	414	1,090	465	1,400	51	309
セグメント別内訳						
特殊鋼線関連事業	210	448	168	670	△41	221
鋼索関連事業	115	245	192	500	77	254
エンジニアリング関連事業	66	351	80	190	13	△161
その他	22	45	23	40	1	△5
経常利益	364	989	394	1,200	30	210
四半期（当期）純利益	208	536	199	600	△9	63
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	4.01	10.30	3.83	11.52	△0.17	1.22

（単独）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
売上高	10,737	21,555	10,485	23,180	△251	1,624
経常利益	329	789	203	840	△126	50
四半期（当期）純利益	218	470	121	520	△96	49
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	4.18	9.02	2.33	9.98	△1.85	0.96

#### 2. 設備投資・減価償却費 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
設備投資	275	730	265	900	△10	169
減価償却費	475	955	486	970	10	△14

#### 3. 連結キャッシュ・フロー （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
営業キャッシュ・フロー	202	1,278	883	1,718	680	439
投資キャッシュ・フロー	△705	△1,287	△497	△1,294	208	△7
財務キャッシュ・フロー	1,067	2,731	△368	△853	△1,435	△3,585
現金・現金同等物期末残高	6,412	8,573	8,592	8,143	2,180	△429

#### 4. 有利子負債・金融収支 （連結）

（単位：百万円）

	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比較	
	2Q実績	通期実績	2Q実績	通期予想	2Q実績	通期
有利子負債残高	15,602	17,384	17,210	16,495	1,607	△889
金融収支	△54	△122	△57	△119	△3	3